

世界牛病学会の今後の開催予定

第 31 回世界牛病学会 (WBC2020 Madrid) は、COVID-19 の世界的流行によって開催を 1 年間延期しておりました。しかしながら、その終息の見込は暗中模索の状態であり感染拡大の徴候も見られます。欧州では多数の国において都市封鎖令が発出され、2021 年の開催に向けての準備も困難な状況にあります。

そこで、2021 年へと開催を延期しておりました第 31 回 WBC2020 をさらに 1 年延期して、2022 年開催となりました。2022 年は、メキシコでの開催予定でしたが、これも 2 年後倒しすることとなります。WBC の開催は以下のとおりです。

2018 年 第 30 回 札幌 無事終了

2020 年 開催延期 (31st WBC2020 Madrid)

2021 年 再延期

2022 年 第 31 回 マドリード、スペイン

2024 年 第 32 回 カンクーン、メキシコ

なお、2020 年開催予定であった WBC マドリードに演題登録されていた方々の Abstract は、すでに審査は終了しておりますが、その取り扱いについてはあらためて大会事務局から通知があると思われます。現在大会 HP は閉鎖中です。

今後の予定などに関しては、学会 HP (World Association for Buiatrics; WAB) <http://www.buiatrics.com/> でも随時お知らせします。皆様の奮っての参加をお願いいたします。

問合せ先：酪農学園大学 田島誉士 motoshi@rakuno.ac.jp